

# CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

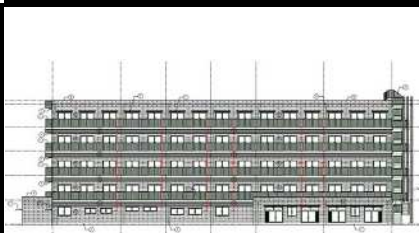
1. 建物概要												
建物名称	有料老人ホーム サニーライフ新潟紫竹山新築工事											
建設地	新潟県新潟市中央区紫竹山五丁目441番9、466番3、467番3、468番5、469番6の各一部											
用途地域	第1種住居、法22条地域											
建物用途	病院,											
竣工年	2022年7月 予定											
敷地面積	2,199.58 m <sup>2</sup>											
建築面積	955.33 m <sup>2</sup>											
延床面積	4,331.51 m <sup>2</sup>											
階数	地上5F											
構造	S造											
評価の段階	実施設計段階評価											
評価の実施日	2021年10月21日											
2. CASBEE新潟の評価結果												
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46.4}{46.1} = 1.0$									
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★												
3. 新潟市の重点項目の評価												
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 3.3		<table border="1"> <tr><td>バリアフリー計画</td><td>Q2.1.1.3</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>維持管理</td><td>Q2.1.3</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>設備の更新性</td><td>Q2.3.3</td><td>3.4</td></tr> </table>	バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0	維持管理	Q2.1.3	3.5	設備の更新性	Q2.3.3	3.4
バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0										
維持管理	Q2.1.3	3.5										
設備の更新性	Q2.3.3	3.4										
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 3.2		<table border="1"> <tr><td>耐震・免震・制震・制振</td><td>Q2.2.1</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>信頼性</td><td>Q2.2.4</td><td>3.4</td></tr> </table>	耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0	信頼性	Q2.2.4	3.4			
耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0										
信頼性	Q2.2.4	3.4										
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 3.0		<table border="1"> <tr><td>雨水排水負荷低減</td><td>LR3.2.3.1</td><td>3.0</td></tr> </table>	雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0						
雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0										
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 4.0		<table border="1"> <tr><td>建物外皮の熱負荷抑制</td><td>LR1.1</td><td>5.0</td></tr> <tr><td>自然エネルギー利用</td><td>LR1.2</td><td>3.0</td></tr> </table>	建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	5.0	自然エネルギー利用	LR1.2	3.0			
建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	5.0										
自然エネルギー利用	LR1.2	3.0										
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.3		<table border="1"> <tr><td>節水</td><td>LR2.1.1</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>躯体材料以外でのリサイクル材の使用</td><td>LR2.2.4</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>部材の再利用可能性向上への取組み</td><td>LR2.2.6</td><td>5.0</td></tr> </table>	節水	LR2.1.1	4.0	躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	4.0	部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	5.0
節水	LR2.1.1	4.0										
躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	4.0										
部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	5.0										
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.5		<table border="1"> <tr><td>生物環境の保全と創出</td><td>Q3.1</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>敷地内温熱環境の向上</td><td>Q3.3.2</td><td>2.0</td></tr> </table>	生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0	敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0			
生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0										
敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0										
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 2.5		<table border="1"> <tr><td>まちなみ・景観への配慮</td><td>Q3.2</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>地域性への配慮、快適性の向上</td><td>Q3.3.1</td><td>2.0</td></tr> </table>	まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0	地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0			
まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0										
地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0										
4. 新潟市の重点項目の配慮事項												
<p>内装材は防汚性に配慮した材料を使用するなど維持管理に配慮している。          複層ガラスの採用、断熱材の強化により外皮性能を上げるなど温熱環境に配慮している。          自動水栓などの省水型機器を用いるなど水資源を保護している。          躯体+LGS+仕上とし、躯体と仕上材が容易に分別可能、PS・天井内配管により設備との錯綜を回避している。</p>												

# CASBEE<sup>®</sup>新潟

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	有料老人ホーム サニーライフ新潟紫竹山新築工事	階数	地上5F
建設地	新潟県新潟市中央区紫竹山北下町441番2、465番2、467番3、468番2、469番4の各一部	構造	S造
用途地域	第1種住居、法22条地域	平均居住人員	171人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2021年10月21日
敷地面積	2,200 m <sup>2</sup>	作成者	第一建設工業株式会社 後藤武明
建築面積	955 m <sup>2</sup>	確認日	2021年10月21日
延床面積	4,332 m <sup>2</sup>	確認者	第一建設工業株式会社 後藤武明



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	89%
③上記+②以外の	89%
④上記+	89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合		
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
複層ガラスの採用、断熱材の強化により外皮性能を上げるなど温熱環境に配慮している。昼光率を高めに設定するなど光・視環境に配慮している。また、F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。	内装材は防汚性に配慮した材料を使用するなど維持管理に配慮している。非常用発電機を採用、通信設備の多様化、また、補修必要間隔の長い外壁材、仕上材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。	敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	自動水栓などの省水型機器を用いるなど水資源を保護している。ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。	広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。駐車場を確保し利便性に配慮、管理用車両・荷崩き車両の駐車施設を確保するなど交通負荷の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される